

美郷町学校再編計画

平成21年6月

美 郷 町

目 次

I. はじめに	1
II. 計画の基本的な考え方	
1. 美郷町小・中学校における適正な学校規模	
(1) 教員数の確保	1
(2) 多様な学習指導・活動への対応	1
2. 適正規模に再編する方策	2
3. 長期的な展望に立った学校適正規模の実現	
(1) 児童生徒の通学に関する交通手段	2
(2) 適正規模を満たす学校施設	2
(3) 地域社会との関わりに対する考え方	2
(4) 廃校校舎の有効な活用	2
III. 具体的な学校再編の枠組み	
1. 小学校	3
2. 中学校	3
IV. 学校再編のスケジュール	3
V. 附属資料編	
【資料－1】統合後の小・中学校の児童・生徒数と学級数	

I. はじめに

少子化に伴い、限られた学校教育資源の有効活用を図るという視点から、学校規模の適正化に向けたさまざまな取り組みが全国各地で行われています。それは本町においても例外ではなく、年々進行する小・中学校の小規模化を契機に、このような教育を取り巻く様々な環境の変化からも、新しい時代を展望した教育のあり方や学校規模、適正配置等についての基本的な考え方を示す必要が生じてきています。

そこで美郷町教育委員会では、平成 19 年度から「美郷町立学校の将来について考える」事業に着手してきています。事業初年度は、平成 19 年 7 月に「美郷町望ましい学校規模を考える委員会」へ美郷町立小・中学校の現状を示し、望ましい学校規模についての検討を依頼し、平成 20 年 3 月に意見書が示されました。また、町民・保護者を対象とした学校将来構想に係るアンケート調査を実施しました。

事業 2 年目の平成 20 年度は、子どもたちにとって望ましい教育環境整備の指針とするため、6 月に「美郷町学校将来構想検討委員会」へ学校教育将来構想の方向性について検討を依頼し、11 月に提言書が示されました。また、8 月には保護者や地域住民を対象とした町主催の地区別学校懇談会を実施し、再編の方策について広く意見を求めました。これらのことを踏まえ、美郷町教育委員会は平成 21 年 3 月に「美郷町学校教育将来構想」を策定しました。

平成 21 年 4 月には町内全ての幼稚園、保育園、小中学校で保護者説明会を実施するとともに、公共施設再編計画と合わせ住民説明会を実施しました。この間、パブリックコメントの募集や地域からの開催要望に応じて「やまびこ座談会」も開催しました。

今回、この「美郷町学校教育将来構想」や保護者説明会、住民説明会等での意見を踏まえながら、これからの子どもたちにとって望ましい教育環境を整備し、適正な学校規模の実現を目指す「美郷町学校再編計画」を策定するものです。

II. 計画の基本的な考え方

1. 美郷町小・中学校における適正な学校規模

児童生徒数が減少する中、長期的な視野に立ち、子どもたちが充実した集団活動を展開し、その中で将来の社会適応に必要な人格形成がなされていくことを優先的に考慮し、小・中学校の適正な学校規模について次のように考える。

	小学校	中学校
各学年児童生徒数	50人以上	50人以上
1学年の学級数	2～3学級	2～4学級
1校あたりの学級数	おおむね12～18学級	おおむね6～12学級

<適正な学校規模の条件>

(1) 教員数の確保

児童生徒の学習指導において確かな学力を身に着けさせ、個性と創造力豊かな子どもを育成し、学校での児童生徒の安全確保体制に支障が生じないようにするためには、ある一定数以上の教員数が確保できる規模であること。

(2) 多様な学習指導・活動への対応

各学年に複数の学級があることにより、教員が連携して指導にあたる等、より充実した教育活動が維持・継続でき、かつ単学級の課題と言われている

人間関係の固定化・順列化の解消にもつながる。また子どもたちの主体性を育てるクラブ活動、委員会活動の種類や活動内容が制限されることなく行われる等、子どもたちの特質や良さが発揮されるなど一定規模ならではの成長が期待される。

2. 適正規模に再編する方策

美郷町の今後の財政状況と少子化を考慮し、小・中学校を適正規模に再編する方策は「学校の統廃合」とする。

小学校については旧町村ごと1校に統合し、中学校においては町内1校に統合する。

3. 長期的な展望に立った学校適正規模の実現

児童生徒の通学についての交通手段（スクールバス等）や適正規模を満たす学校施設の検討、通学区の境界区域についての弾力的運用の検討、幼保・小・中学校の連携、保護者や地域住民の願いについて十分に配慮する。

(1) 児童生徒の通学に関する交通手段

統廃合が実施された場合、通学区域が広くなることに加え、文化・運動部活動などにより帰宅時間が遅くなる児童生徒も多く、通学距離及び時間がさらに長くなることも想定される。現在、スクールバスを運行しているのは千畑地区の小・中学校と六郷小学校の本館地域のみであるが、今後、遠距離対策としてスクールバス運行を全町に拡充する。

さらに、こうした通学路や通学形態に対する配慮だけでなく、交通安全に関する施設の整備や交通安全指導などの対策も重視する。

(2) 適正規模を満たす学校施設

統廃合の実施に際しての学校施設については、適正規模を充足できる学校施設面積、保有教室数、地理的条件、財政の面などを考慮し、可能な限り小・中学校区の通学区域における整合性やバランスに配慮する。

さらに幼保・小・中学校の教育内容の連続性や健全育成の面から、それぞれの連携の必要性、学校と地域の結びつきなどにも十分配慮し、子どもたちが自己を確立しながら多様な価値を認め合い、伸び伸びと学習できる魅力ある学校づくりを進めていくことができるような教育環境を提供する。

(3) 地域社会との関わりに対する考え方

適正規模化の実施によって、学校を取り巻く地域の枠組みも変化が予想されるが、子どもたちの地域での様々な活動、社会体験学習の場の提供、登下校時における防犯ボランティア（子ども見守り隊）などの活動を通じて、学校と家庭及び地域がそれぞれに関わり合いながら、連携が希薄にならないように進めていくことが重要な課題になってくる。これまでの地域との関わり、地域の実情を十分考慮に入れた上で地域の理解・協力を得られるかたちで進めることとする。

(4) 廃校校舎の有効な活用

学校は地域のコミュニティの役割も担っており、統合後の廃校校舎については、委員会等を設置し有効な活用を検討する。

Ⅲ. 具体的な学校再編の枠組み

学校再編後の美郷町の小中学校及び校舎は、次のとおりとする。

1. 小学校

学校名	統合後	統合年度	統合校舎	理由
六郷小学校	六郷地区 1校	平成22年度	六郷小学校	立地面、施設面を考えると、六郷小学校を活用した方が、通学距離、増築不要等の条件がよりそろっている。
六郷東根小学校				
千屋小学校	千畑地区 1校	平成25年度	千屋小学校	両校とも中央に位置しておらず、立地面で大きな違いはないが、教室数等の学校規模を比較すると、千屋小学校の方が増築不要で、そのまま活用できるという利点がある。
千畑南小学校				
仙南東小学校	仙南地区 1校	平成25年度	仙南中学校	三校とも老朽化が進み、このままでは大規模改修は避けられない。町の中央にある六郷中学校を統合中学校とした時、現仙南中学校を三小学校に活用することが可能となる。立地面、施設面、財政面から見ても条件が整っている。
仙南西小学校				
金沢小学校				

2. 中学校

学校名	統合後	統合年度	統合校舎	理由
六郷中学校	全町1校	平成24年度	六郷中学校	立地的に全町の中央であることが大きな要素である。障害者用エレベーター等の設備を有していることも手厚い教育を可能にする。中央にあることで、遠距離通学者も最低限に抑えられるものと思われる。施設面では必要な教室棟を増築するなどして対応が可能である。
千畑中学校				
仙南中学校				

Ⅳ. 学校再編のスケジュール

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
六郷地区 小学校統合	統合詳細検討 準備委員会	4月統合			
千畑地区 小学校統合	統合詳細検討	準備委員会	実施設計	施設整備	4月統合
仙南地区 小学校統合	統合詳細検討	準備委員会	実施設計	施設整備	4月統合
中学校統合	統合詳細検討 実施設計	準備委員会	施設整備	4月統合	

V. 附属資料編

【資料－1】

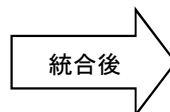
統合後の小・中学校の児童・生徒数と学級数

- ・特別支援学級の児童・生徒数、学級数は含まない。
- ・学級数は40人学級を基準としている。
- ・平成21年5月1日現在の児童・生徒数を基に推計したもの。

1. 小学校

六郷地区

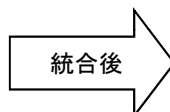
		平成22年度						
学校名	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
六郷小学校	児童数	45	42	51	43	55	49	285
	学級数	2	2	2	2	2	2	12
六郷東根小学校	児童数	4	8	11	5	10	6	44
	学級数	1	1	1	1	1	1	4



		平成22年度						
区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
児童数	49	50	62	48	65	55	329	
学級数	2	2	2	2	2	2	12	

千畑地区

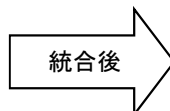
		平成25年度						
学校名	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
千屋小学校	児童数	29	31	33	19	37	39	188
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
千畑南小学校	児童数	16	31	22	24	29	27	149
	学級数	1	1	1	1	1	1	6



		平成25年度						
区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
児童数	45	62	55	43	66	66	337	
学級数	2	2	2	2	2	2	12	

仙南地区

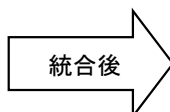
		平成25年度						
学校名	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
仙南東小学校	児童数	11	18	15	26	12	9	91
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
仙南西小学校	児童数	17	17	18	27	20	14	113
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
金沢小学校	児童数	30	17	16	20	17	13	113
	学級数	1	1	1	1	1	1	6



		平成25年度						
区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
児童数	58	52	49	73	49	36	317	
学級数	2	2	2	2	2	1	11	

2. 中学校

		平成24年度			
学校名	区分	1年	2年	3年	計
六郷中学校	生徒数	65	55	64	184
	学級数	2	2	2	6
千畑中学校	生徒数	62	62	68	192
	学級数	2	2	2	6
仙南中学校	生徒数	56	48	54	158
	学級数	2	2	2	6



		平成24年度			
区分	1年	2年	3年	計	
生徒数	183	165	186	534	
学級数	5	5	5	15	